

キャンパスライフ健康支援センター一年報

令和元（平成 31）年度

徳島大学キャンパスライフ健康支援センター

キャンパスライフ健康支援センター年報

目次

巻頭言	3
センター長 井崎ゆみ子	
I.保健管理部門	
1. 診療・健康相談日程表	4
2. 学生定期健康診断	5
(1) 学生定期健康診断の概要	
(2) 令和元（平成 31）年度受診状況	
(3) 歯科検診受診状況	
(4) 令和元（平成 31）年度事後措置件数および経過観察件数	
3. 学生特別健康診断	10
令和元（平成 31）年度受診状況（放射線業務従事者、学内駅伝参加者）	
4. 職員定期健康診断（事後措置）	11
令和元（平成 31）年度事後措置件数	
5. 職員特殊健康診断	12
令和元（平成 31）年度受診状況	
6. 職員特定保健指導	13
特定保健指導の概要と令和元（平成 31）年度実施状況	
7. 感染症対策	15
①B 型肝炎予防対策（学生）	
②インフルエンザワクチン接種状況	
8. 学内行事での救護活動	16
令和元（平成 31）年度の救護活動	
9. 産業保健活動	16
産業保健活動の概要	

1 0. 常三島地区利用状況	18
(1) 学生の学部別利用状況	
(2) 学生の月別利用状況	
(3) 職員の利用状況	
1 1. 蔵本地区利用状況	21
(1) 学生の学部別利用状況	
(2) 学生の月別利用状況	
(3) 職員の利用状況	
1 2. 学生メンタルヘルス関連	23
(1) こころの相談室受診状況	
(2) 新入生メンタルヘルス健診実施状況	
1 3. 健康教室実施利用状況	25
1 4. 学生健康診断証明書発行状況	26
1 5. 令和元（平成 31）年度年間主要行事	28
Ⅱ.総合相談部門	
1. 利用状況	29
(1) 学生相談利用状況	
(2) 職員相談利用状況	
2. 活動報告	31
令和元（平成 31）年度活動報告	
Ⅲ.アクセシビリティ支援部門	
1. 利用状況	32
(1) 学生相談利用状況	
(2) 支援学生の育成	
2. 活動報告	34
令和元（平成 31）年度活動報告	
Ⅳ.キャンパスライフ健康支援センター活動報告	35

巻頭言

キャンパスライフ健康支援センターは、保健管理・総合相談センターと特別修学支援室を改組して令和元年度（2019年4月）に設置されました。この年報は、キャンパスライフ健康支援センターとしての初めての年報となります。

当センターは現在の形としては新しい組織ですが、その沿革と役割を振り返ってみますと、昭和50年（1975年）4月の保健管理センター設置に遡ります。保健管理センターとして、学生の健康診断や体調不良、ケガの手当や診療など身体的な健康管理を担う役割から始まり、時代の流れとともに学生の心の健康支援も必要とされるようになり、医学・保健的観点から、学生のみならず、職員に対しても心身両面の健康管理をサポートする役目を担ってきました。平成26年（2014年）1月には、それまで人権相談も含めあらゆる相談の窓口となり、主に心理面で専門的に学生・職員の相談、カウンセリングを担当していた学生相談室・職員相談室と保健管理センターを改組し、保健管理・総合相談センターとなりました。そして今回、特別修学支援室と統合、保健管理・医療を担当する保健管理部門（保健管理センター）、相談・心理支援を担当する総合相談部門（総合相談室）、障害などのため修学に困難をもつ学生の修学支援を行うアクセシビリティ支援部門（アクセシビリティ支援室）の3部門からなるセンターとなりました。

令和元年度は、総合相談部門では前年度より引き続いての専任教員の1名欠員、保健管理部門は新たに内科担当の専任教員の欠員への対応があり、令和2年に入ってから、新たに新型コロナウイルス感染症による生活や心身の健康へに与える影響への対応、及びこれまでの業務を感染症対策に適合させること等の対応が求められてきているところです。引き続き教職員一同、ワンチームで業務に取り組んでまいります。

年報の様々な記録は、各部門の活動の記録であるとともに、徳島大学の学生・職員に対する心身の健康支援および学生に対する修学支援の取り組みの現状を表しています。徳島大学の学生・職員の皆さんにおかれましては、健康管理の一側面を表すものとして参考になればと思います。忌憚のないご意見ご感想をお待ちしております。

令和2年8月
センター長 井崎ゆみ子

I.保健管理部門

1. 診療・健康相談日程表

常三島地区、蔵本地区ともに8時30分から17時15分までオープンしている。

常三島地区

	月	火	水	木	金	
内科		○				am または pm
メンタルヘルス	○	○			○	予約制、月曜は午後のみ
健康相談	○	○	○	○	○	
外傷処置	○	○	○	○	○	

担当スタッフ

井崎 ゆみ子 (医師、メンタルヘルス担当、健康相談担当)
 浜田 知子 (医師、内科担当、非常勤 R1.10～)
 早渕 純子 (保健師)
 西尾 よしみ (看護師)
 武田 早苗 (臨床検査技師、～R1.8 産休)
 田尾 さよ子 (看護師、H30.11～R2.3)

蔵本地区

	月	火	水	木	金	
内科				△		
メンタルヘルス			○		○	水・金とも午後のみ
健康相談	○	○	○	○	○	
外傷処置	○	○	○	○	○	

内科は R1.5～6、木曜午後のみ

担当スタッフ

井崎 ゆみ子 (医師、メンタルヘルス担当)
 富岡 有紀子 (医師、メンタルヘルス担当、学校協力医 H31.4～R2.3)
 横山 小百合 (看護師)

*R1.5～6、内科担当、病院診療支援医師として以下の先生方に協力いただいた。

安宅克博、住谷龍平、内藤仁美、柴田恵理子、寺前智史、高橋智紀、山本遥平、
 宇高憲吾、高橋智子、武原正典、山本雄貴、三井由加里、近藤圭大、谷彰浩、
 影本開三

2. 学生定期健康診断

(1) 学生定期健康診断の概要

【実施項目】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	M1	M2	D1	D2	D3	D4
身長・体重	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
血压	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
尿検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
視力検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
内科診察	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
血液検査	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
胸部X線間接撮影	●	◎	○	▲	●	●		●			▲	●
精神健康調査	●											
歯科検診	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

●印は全員該当 ○印は栄養学科・保健学科のみ

◎印は総合科学部「介護体験」実習生

▲印はその学年が最終学年となる学科、および医学科・薬学部

□印は希望者

【実施時期と体制】

新入生の健診は4月入学当初のオリエンテーションの中に組み込み3日間実施している。他の在学学生においては4月上旬から5月上旬にかけて常三島地区で8日間、蔵本地区で6日間実施した。また平成28年度から実施している秋季入学生を対象の健康診断は11月上旬に常三島地区で1日実施した。

春季定期健診については保健管理部門スタッフと臨時看護スタッフ8名及び1日当たり学務・学部等の事務職スタッフ約5名、病院医師2～3名の協力にて実施している。

【実施結果の概要】

令和元年度の定期健康診断の全体の受診率は70.7%で、平成30年度の69.6%から微増し、70%越えを達成した。内訳では、学部生全体の受診率は75.4%で30年度の75.5%と変化なく、大学院(前期)生の受診率が前年度65.2%から71.6%と上昇した。定期健康診断の受診率は、平成24年度までは50%台であったことから見ると、受診率は学部生を中心として上昇してきている。

秋入学生健康診断の受診率は留学生で73.1%、日本人で0%と、留学生で前年度70.6%より上昇した。日本人対象者は70%以上が社会人入学生であり、すでに別途健診を受診していることが受診率の低さと関係していると思われる。同様のことが春の定期健康診断の大学院生(後期)にも言え、健診受診率は19.2%となっている。

(2) 学生定期健康診断受診状況

定期健康診断（春季）

令和元（平成31）年度

学部	年次	学部生						大学院生(前期)			大学院生(後期)					総計		
		1	2	3	4	5	6	計	M1	M2	計	D1	D2	D3	D4		計	
総合科学部	学生数	187	183	200	207			777	36	45	81	4	2	5		11	869	
	受診数	182	92	73	133			480	28	22	50	1	1	0		2	532	
	%	97.3	50.3	36.5	64.3			61.8	77.8	48.9	61.7	25.0	50.0	0.0		18.2	61.2	
医学部	学生数	311	310	298	310	109	102	1440	63	57	120	57	65	68	103	293	1853	
	受診数	290	280	270	295	95	98	1328	49	41	90	13	6	5	2	26	1444	
	%	93.2	90.3	90.6	95.2	87.2	96.1	92.2	77.8	71.9	75.0	22.8	9.2	7.4	1.9	8.9	77.9	
歯学部	学生数	58	57	58	55	41	42	311	5	6	11	15	22	19	19	75	397	
	受診数	55	49	54	49	37	34	278	3	0	3	11	11	6	11	39	320	
	%	94.8	86.0	93.1	89.1	90.2	81.0	89.4	60.0	0.0	27.3	73.3	50.0	31.6	57.9	52.0	80.6	
薬学部	学生数	92	83	83	92	43	45	438	30	39	69	12	15	19	3	49	556	
	受診数	88	73	74	89	42	44	410	25	27	52	7	5	6	0	18	480	
	%	95.7	88.0	89.2	96.7	97.7	97.8	93.6	83.3	69.2	75.4	58.3	33.3	31.6	0.0	36.7	86.3	
工学部	昼間	学生数	1	12	40	109			162	321	356	677	32	36	56		124	963
		受診数	0	0	3	52			55	203	288	491	7	7	7		21	567
		%	0.0	0.0	7.5	47.7			34.0	63.2	80.9	72.5	21.9	19.4	12.5		16.9	58.9
	夜間主	学生数	0	1	9	22			32									32
		受診数	0	1	0	14			15									15
		%	0.0	100.0	0.0	63.6			46.9									46.9
理工学部	昼間	学生数	585	589	600	471			2245									2245
		受診数	551	273	317	342			1483									1483
		%	94.2	46.3	52.8	72.6			66.1									66.1
	夜間主	学生数	48	49	56	34			187									187
		受診数	45	36	25	27			133									133
		%	93.8	73.5	44.6	79.4			71.1									71.1
生物資源産業学部	学生数	108	102	106	92			408									408	
	受診数	104	78	76	81			339									339	
	%	96.3	76.5	71.7	88.0			83.1									83.1	
計	学生数	1390	1386	1450	1392	193	189	6000	455	503	958	120	140	167	125	552	7510	
	受診数	1315	882	892	1082	174	176	4521	308	378	686	39	30	24	13	106	5313	
	%	94.6	63.6	61.5	77.7	90.2	93.1	75.4	67.7	75.1	71.6	32.5	21.4	14.4	10.4	19.2	70.7	

*学部新入生は胸部撮影を、その他の学年は内科受診をもとに算出

秋季入学生健康診断

令和元（平成 31）年度

		留学生	日本人	合計
総合科学部 総合科学教育部	学生数	26		26
	受診数	23		23
	%	88.5		88.5
医学部 医科学教育部	学生数	3	6	9
	受診数	0	0	0
	%	0.0	0.0	0.0
歯学部 口腔科学教育部	学生数	4	1	5
	受診数	2	0	2
	%	50.0	0.0	40.0
薬学部 薬科学教育部	学生数	2	1	3
	受診数	1	0	1
	%	50.0	0.0	33.3
工学部 先端技術科学教育部	学生数	15	6	21
	受診数	12	0	12
	%	80.0	0.0	57.1
理工学部	学生数	7		7
	受診数	4		4
	%	57.1		57.1
生物資源産業学部	学生数	1		1
	受診数	0		0
	%	0.0		0.0
国際センター	学生数	9		9
	受診数	7		7
	%	77.8		77.8
合計	学生数	67	14	81
	受診数	49	0	49
	%	73.1	0.0	60.5

(3) 歯科検診受診状況

予防歯科の伊藤先生のご協力を得て、健診日のうち常三島、蔵本各2日ずつ、希望者に歯科検診を行った。歯科検診受診者は、平成25年度までの3年間は平均100名程度から、平成30年度205名、令和元年度は252名と増加している。

令和元（平成31）年度

		総合科学部		医学部		歯学部		薬学部		工学部		理工学部		生物資源産業学部		総計
		学部生	院生	学部生	院生	学部生	院生	学部生	院生	学部生	院生	学部生	院生	学部生	院生	
常三島地区	4月15日	7	1							13	48		5		74	
	4月16日	4	2						3	11	24		3		47	
蔵本地区	4月22日			26	16	8		16	4	1					71	
	4月24日			35	6		2	14	3						60	
小計		11	3	61	22	8	2	30	7	3	25	72	8		252	
総計		14		83		10		37		28		72		8		

(4) 定期健康診断後事後指導および経過観察件数

健診結果を受け、6月に事後指導、10月に経過観察を行った。

健診後、血圧で収縮期血圧140mmHg以上、又は拡張期血圧90mmHg以上、尿検査で蛋白1+以上、潜血1+以上、糖1+以上のいずれかに該当する場合で、再検査を呼びかけている。事後指導は下表対象基準のいずれかに該当する者を対象者として実施、受診者に占める対象者の割合は5%であった。また、対象者の事後指導受診率は平成29、30年度と変わらず56%であり、事後指導の未受診者には、平成27年度より文書にて指導を行っている。令和元年度は健診に付随しての生化学検査は実施しなかったため、経過観察は血圧、尿検査からの対象者に対して実施している。

* 学生事後指導及び経過観察の対象基準

		事後指導	経過観察
血圧	最高	160 ≤	160 ≤
	最低	90 ≤	90 ≤
尿	蛋白	2+ ≤ か 再検査結果が 1+ ≤	1+ ≤
	潜血	再検査結果が 2+ ≤	2+ ≤
	尿糖	1+ ≤	1+ ≤
肥満度	BMI	40 ≤	
内科		有所見者	
XP		要精密・要治療・治療中	

令和元（平成 31）年度
再検査

学部	血圧再検査					尿再検査				
	受診数	有所見数	%	再検数	%	受診数	有所見数	%	再検数	%
総合科学部	532	19	3.6	16	3.0	532	85	16.0	84	15.8
医学部	1444	30	2.1	14	1.0	1444	168	11.6	129	8.9
歯学部	320	6	1.9	4	1.3	320	50	15.6	41	12.8
薬学部	480	11	2.3	8	1.7	480	69	14.4	55	11.5
工学部	582	45	7.7	35	6.0	582	66	11.3	66	11.3
理工学部	1616	120	7.4	78	4.8	1616	226	14.0	195	12.1
生物資源産業学部	339	19	5.6	14	4.1	339	46	13.6	42	12.4
計	5313	250	4.7	169	3.2	5313	710	13.4	612	11.5

事後指導

学部	対象者数	呼出数	%	受診数	%	血圧		尿		内科		胸部レントゲン		肥満	
						対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数	対象者数	受診数
総合科学部	532	21	3.9	12	57.1	2	0	10	5	8	7	0	0	1	0
医学部	1444	87	6.0	50	57.5	7	1	42	23	38	26	0	0	1	0
歯学部	320	17	5.3	11	64.7	1	1	9	4	7	6	0	0	1	1
薬学部	480	28	5.8	13	46.4	2	2	14	7	11	3	2	2	2	2
工学部	582	22	3.8	7	31.8	7	2	5	1	9	4	2	2	1	0
理工学部	1616	83	5.1	51	61.4	12	8	44	25	27	19	3	3	1	0
生物資源産業学部	339	15	4.4	8	53.3	1	0	3	1	11	7	0	0	2	0
計	5313	273	5.1	152	55.7	32	14	127	66	111	72	7	7	9	3

経過観察

学部	血圧		尿	
	対象者数	受診数	対象者数	受診数
総合科学部	2	0	12	6
医学部	6	1	55	14
歯学部	0	0	13	3
薬学部	1	0	19	1
工学部	5	0	9	1
理工学部	7	0	56	12
生物資源産業学部	1	0	4	0
計	22	1	168	37

3. 学生特別健康診断

放射線取扱者の健診を取り扱い更新者に対しては9月と2月の年2回、新規取扱者に対しては5月、11月に実施している。また、学内駅伝大会出場者のための健診を12月に行っている。放射線取扱者の健診受診者数においては、この4年間、約1600名となっており、26～28年度の約2000名と比べると少ない。また、駅伝大会のための健診者も、前年度、前々年度と変わらず、平成26～28年度の平均約280名に比べると少なかった。

学部	令和元(平成31)年度		
	放射線 取扱い者	徳島大学駅伝 大会出場者	計
総合科学部	4	29	33
医学部	1029	14	1043
歯学部	42	3	45
薬学部	196	1	197
工学部	0	23	23
理工学部	373	122	495
生物資源産業学部	9	23	32
計	1653	215	1868

学内駅伝大会出場者で、心電図検査を受けたことがない学生を対象に心電図検査を実施している。

心電図検査実施件数

学部	令和元 (平成31)年度
総合科学部	26
医学部	14
歯学部	3
薬学部	1
工学部	18
理工学部	119
生物資源産業学部	22
計	203

4. 職員定期健康診断（事後措置）

職員定期健康診断は、平成 26 年度から外注で 6 月に実施されているが、定期健康診断実施後の事後措置は当保健管理部門が担当している。令和元年度は、事後措置として対象者に対して文書および電話にて受診勧奨を行った。

がん検診については、大腸がん、肺がんにおいては、健診受診者の精密検査の要否判定を行っている。（なお、表においては「大腸がん・受診者」は健診受診者数を表し、「肺がん・精密受診者」は精密検査要と判定した者のうち精密検査受診者数を表している。）大腸がん健診の受診者数は 28 年度まで 3 年漸増傾向であったが、この 4 年間はそれぞれ横ばいである。

＊職員定期健康診断事後指導呼び出し基準

血圧		尿		血液検査								
収縮期	拡張期	蛋白	尿糖	HGB(男)	HGB(女)	血糖	GOT	GPT	γ-GTP	LDL	TG	HbA1c
160 ≤	95 ≤	1+ ≤	2+ ≤	< 11	< 10	200 ≤	100 ≤	100 ≤	200 <	170 ≤	200 ≤	7 ≤

令和元（平成 31）年度

所 属	検査名	血圧	尿	生化学	血球	大腸がん	肺がん
		指導数	指導数	指導数	指導数	受診数	精密受診数
事務局		7	4	11	7	20	8
病院		14	17	46	31	49	6
常三島事務部		2	2	3	2	2	2
蔵本事務部		2	3	2	1	4	0
大学院医歯薬学研究部		8	2	16	5	37	6
大学院社会産業理工学研究部		7	3	17	6	23	1
学内共同教育研究		3	2	9	6	35	7
研究連携推進機構		0	0	0	0	5	1
	計	43	33	104	58	171	36

5. 職員特殊健康診断

深夜業務、放射線取り扱い業務、有機溶剤取り扱い業務、特定化学物質取り扱い業務およびVDT作業の各従事者に対して、年2回の特殊健康診断を実施している。平成23～25年度の受診数が平均約2800件であったことと比較すると、26年度以降漸増し、30年度は3500件超となったが、令和元年度は29年度並みの3300件となっている。

令和元（平成31）年度

所 属	健康診断受診数						計
	深夜業務	放射線取り扱い		有機溶剤	特定化学物質	VDT	
		新規	更新				
事務局	0	0	0	0	0	0	0
病院	1453	165	886	22	45	46	2617
常三島事務部	0	0	0	0	0	0	0
蔵本事務部	0	0	0	0	0	0	0
大学院医歯薬学研究部	13	19	319	24	31	22	428
大学院社会産業理工学研究部	0	5	130	10	12	12	169
学内共同教育研究	0	7	66	14	26	7	120
研究連携推進機構	0	0	0	2	0	3	5
その他	0	0	0	0	0	0	0
計	1466	196	1401	72	114	90	3339

令和元年度は、積極支援の対象者が94名、動機付け支援の対象者が110名であり、平成29年度以降の200名を超える状態は同様であった。積極支援および動機づけ支援の対象者の初回面接の実施率は11%と30年度の13%と変化はない。平成20年度に保健管理部門が特定保健指導の実施を開始した当初の初回面接の実施率は、積極支援、動機づけ支援ともに76%であったが、その後漸減し、平成30年度より10%台となった。一方で令和元年度の保健指導実施後の改善率は初回面接受診者の40~58%で改善が得られ(30年度50~64%)、継続支援を行い得た者に限ると88~100%(30年度70~71%)となっており、比較的高い改善率を保っている。

令和元(平成31)年度

<積極支援>

地区	対象者			初回面接後 内服開始により 対象外となった者			6ヶ月後評価が 出来た者で 効果が見られた者			初回面接 実施者中効果 の見られた者	
	人数	人数	率	人数	人数	率	評価人数	効果あり	率	人数	率
常三島・新蔵地区	44	10	22.7	0	4	40.0	4	4	100.0	4	40.0
蔵本地区	50	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
合計	94	10	10.6	0	4	40.0	4	4	100.0	4	40.0

<動機付け支援>

地区	対象者			初回面接から 6ヵ月後質問紙 提出があった者		6ヶ月後評価が 出来た者で 効果が見られた者			初回面接 実施者中効果 の見られた者	
	人数	人数	率	人数	率	評価人数	効果あり	率	人数	率
常三島・新蔵地区	35	7	20.0	5	71.4	5	5	100.0	5	71.4
蔵本地区	75	5	6.7	3	60.0	3	2	66.7	2	40.0
合計	110	12	10.9	8	66.7	8	7	87.5	7	58.3

*メールや電話、手紙、面接等で支援を行った総数(初回面接除く)27件

7. 感染症対策

学生の感染症対策として、病院内の実習における感染症対策に求められる基準に合わせて、学部学科より実施希望を受け、HBV 感染症対策として採血およびワクチン接種を行っている。令和元年度の実施数は前年度と変化はなかった。

学部	HBsワクチン 接種	HBs抗原 抗体採血 ・抗体採血
総合科学部	45	28
医学部	846	581
歯学部	165	104
薬学部	279	198
工学部	0	0
理工学部	0	0
生物資源産業学部	0	0
計	1335	911

また、学生・職員の希望者に対して、インフルエンザの予防接種を実施している。学生・職員の実施数はともに、平成 30 年度からそれぞれ 100 名増加している。学生の接種希望者は年度により増減があるが、職員の希望者数は漸増を続けている。

インフルエンザワクチン接種状況

所属		令和元 (平成31)年度
学生	総合科学部	44
	医学部	634
	歯学部	138
	薬学部	173
	工学部	94
	理工学部	114
	生物資源産業学部	62
	小計	1259
職員	事務局	153
	病院	0
	常三島事務部	67
	蔵本事務部	24
	大学院医歯薬学研究部	26
	大学院社会産業理工学研究部	159
	学内共同教育研究	97
	研究連携推進機構	93
	その他	0
	小計	619
合計		1878

8. 学内行事での救護活動

大学や学部等からの依頼により、行事などでの救護に対応している。科学体験フェスティバル、大学祭、駅伝大会、センター試験、その他の入試など休日に実施される行事の救護についても保健管理部門の医師1名、看護師2名が分担して対応した。

<学内>

行事内容		常三島		蔵本	
		日数	救護者	日数	救護者
入試関係	大学入試センター試験	2	1	/	/
	前期試験	2	0	2	0
	後期試験	1	0	1	0
	推薦入試等	5	0	3	0
イベント	科学体験フェスティバル	2	6	/	/
	大学祭等	2	0	/	/
	オープンキャンパス	4	2	5	0
合計		18	9	11	0

<学外>

行事内容		日数	救護者	場所
大会	徳島大学駅伝大会	1	0	徳島公園
合計		1	0	

9. 産業保健活動

徳島大学の安全衛生管理体制の中で、産業医（常三島地区：井崎）業務と衛生管理者（常三島地区：早瀬）業務を行っている。

職場巡視（産業医：常三島）

安全衛生委員会（産業医、衛生管理者：常三島）

衛生管理者巡視（衛生管理者：常三島）

長期休業者職場復帰支援（産業医：常三島・蔵本）～平成30年度

（産業医：常三島・新蔵）令和元年度～

ストレスチェック実施と面接指導

（産業医：常三島・蔵本）平成28年度～平成30年度

（産業医：常三島・新蔵）令和元年度～

長時間労働者面接指導（産業医：常三島・蔵本）平成29年度～30年度

（産業医：常三島・新蔵）令和元年度～

令和元年度は保健管理部門の教員が蔵本地区担当の産業医でなくなったことに伴い、面接指導を担当しなかったため、蔵本地区の長時間労働者および高ストレス者の面接指導件数は0件となっている。

長時間労働者の面接指導においては、これまで制度としてはあっても本学では面接指導の希望者がほとんどなかったが、常三島地区、新蔵地区における長時間労働者の面接指導件数が、前年度0件から増加している。これは働き方関連法に基づく労働安全衛生法の一部改正がなされ、過重労働対策が強化されたことが関連していると考えられる。

面接指導件数

令和元（平成31）年度

	常三島	蔵本	新蔵	計
長時間労働者	7(0)	0(1)	3(0)	10(1)
ストレスチェック	4(2)	0(3)	3(0)	7(5)

()は30年度

10. 常三島地区利用状況

常三島地区の診療に関しては平成24年度までは漸増を続け、同年度の約2500件をピークに、平成26～28年度が1800件台、平成29年度1400件、30年度1100件と漸減傾向であり、常三島保健管理センターの診療利用動向の変化が見られていた。令和元年度においては700件とさらに減少したが、内訳では内科系・外科系の診療・処置・相談が30年度に比べて400件減少しており、専任内科医師の不在の影響も考えられ、その分看護スタッフによる健康相談（来所）が100件増加している。

(1) 学生利用状況—学部別

学部別の診療利用では、総合科学部、工学部・理工学部の学生の利用が前年度に比べて減少した。
令和元（平成31）年度

利用区分	診療					書類					健康相談		休養室利用	急患救護	実験用採血	衛生材料	その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所	メール、電話						
総合科学部	40	22	61	5	128	84	0	2	1	87	288	32	79	14	7	240	8	2135
医学部	31	16	10	1	58	139	0	4	1	144								
歯学部	14	9	2	1	26	33	0	1	3	37								
薬学部	26	6	25	0	57	70	0	2	18	90								
工学部	38	19	90	0	147	283	0	3	1	287								
理工学部	86	58	44	2	190	79	0	4	4	87								
生物資源産業学部	48	11	27	3	89	25	0	1	8	34								
その他	2	0	2	0	4	0	0	1	1	2								
計	285	141	261	12	699	713	0	18	37	768	288	32	79	14	7	240	8	

(2) 学生利用状況一月別

診療利用数は例年8月9月および2月3月に減少し、5月、6月、10月が多く、その傾向は同じであるものの、令和元年度においては、全体の利用数の月による差が少なくなっている。

令和元（平成31）年度

利用区分	診療					書類					健康相談		休養室利用	急患救護	実験用採血	衛生材料	その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書	書類計	来所	メール、電話						
4月	38	24	13	0	75	45	0	1	0	46	68	2	4	2	0	37	0	234
5月	48	21	17	3	89	111	0	8	0	119	51	2	2	2	1	27	8	301
6月	39	32	25	1	97	75	0	4	1	80	15	1	0	0	0	16	0	209
7月	36	20	28	0	84	73	0	0	5	78	8	2	8	3	0	58	0	241
8月	11	2	15	1	29	21	0	0	4	25	12	2	21	0	0	7	0	96
9月	8	3	15	1	27	48	0	0	0	48	5	2	11	2	1	4	0	100
10月	27	7	25	2	61	12	0	0	1	13	29	10	9	0	1	21	0	144
11月	17	15	24	0	56	12	0	1	0	13	39	2	1	0	0	39	0	150
12月	16	9	26	2	53	8	0	0	3	11	26	2	3	2	2	12	0	111
1月	14	7	28	2	51	18	0	1	0	19	10	2	10	1	1	16	0	110
2月	8	0	30	0	38	16	0	2	0	18	10	1	5	0	0	3	0	75
3月	23	1	15	0	39	274	0	1	23	298	15	4	5	2	1	0	0	364
計	285	141	261	12	699	713	0	18	37	768	288	32	79	14	7	240	8	2135

(3) 職員利用状況

診療の利用は、メンタルでの利用が増加した分、前年度より微増、および相談の利用においては長期休業者の職場復帰支援数が増加し、全体の利用者は前年度の130件から増加した。

利用区分	診療					相談		書類					休養室利用	急患救護	実験用採血	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	職場復帰支援	関係者コンサルテーション	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計				
令和元（平成31）年度	49	14	61	4	128	35	1	0	0	1	23	24	8	1	8	205

(4) 学生・職員の健康機器利用状況

常三島保健管理部門では、ヘルスチェックルームに体組成計、身長体重計、血圧計、視力計を設置し、健康管理に役立ててもらおう目的で、来所者が自由に利用できるようにしている。以下は、各計測機器の利用件数を合計し、月別に集計したものである。

利用区分	令和元 (平成31)年度
4月	186
5月	399
6月	471
7月	498
8月	356
9月	362
10月	522
11月	349
12月	323
1月	269
2月	233
3月	82
計	4050

1 1. 蔵本地区利用状況

診療の利用は、平成 19 年度以降 500 件を超え続け、平成 28 年度 770 件、平成 29 年度 660 件と多くの利用があったが、30 年度に 400 件と全体に減少がみられ、令和元年度は、メンタルの診療利用は例年並みに増加したものの内科系・外科系の診療・処置が減少したため、診療利用件数は 250 件と低くなった。看護スタッフによる健康相談は例年同様の利用だったが、機器の利用件数は減少した。

(1) 学生利用状況—学部別

学部別では薬学部の診療利用率が最も高いことは例年同様である。

令和元（平成 31）年度

利用区分	診療					書類					健康相談		休養室利用	急患救護	実験用採血	機器利用	衛生材料	その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所	メール、電話							
総合科学部	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	141	83	1	0	0	49	3	153	761
医学部	48	49	66	10	173		8	1	2	11			35	2	0				
歯学部	6	8	2	0	16		0	2	0	2			4	0	0				
薬学部	19	25	13	4	61		1	2	0	3			17	2	0				
工学部	0	1	0	0	1		0	0	0	0			0	0	0				
理工学部	0	0	0	0	0		1	0	0	1			0	0	0				
生物資源産業学部	1	0	0	0	1		0	0	0	0			1	0	0				
その他	0	0	0	0	0		0	0	0	0			0	0	0				
計	75	83	81	14	253	0	10	5	2	17	141	83	58	4	0	49	3	153	761

(2) 学生利用状況一月別

月別に見ると、例年同様4～6月の利用が多い傾向があった。

令和元（平成31）年度

利用区分	診療					書類					健康相談		休養室利用	急患救護	実験用採血	機器利用	衛生材料	その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所	メール、電話							
4月	13	14	3	3	33	0	1	0	0	1	23	9	12	1	0	2	1	26	108
5月	11	12	5	3	31	0	0	1	0	1	18	8	11	0	0	3	0	36	108
6月	21	16	4	3	44	0	6	1	0	7	17	7	7	0	0	4	0	21	107
7月	4	14	11	0	29	0	0	0	0	0	16	15	3	0	0	4	2	13	82
8月	1	0	5	1	7	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	2	15
9月	5	0	9	1	15	0	0	1	1	2	12	11	3	2	0	5	0	5	55
10月	4	15	12	1	32	0	3	0	0	3	12	5	4	0	0	8	0	9	73
11月	5	2	11	1	19	0	0	1	0	1	19	5	4	0	0	3	0	12	63
12月	3	4	5	0	12	0	0	0	0	0	4	10	3	0	0	4	0	4	37
1月	4	4	6	0	14	0	0	0	0	0	7	6	4	0	0	10	0	4	45
2月	2	2	5	1	10	0	0	0	1	1	7	3	3	1	0	3	0	8	36
3月	2	0	5	0	7	0	0	1	0	1	4	2	2	0	0	3	0	13	32
計	75	83	81	14	253	0	10	5	2	17	141	83	58	4	0	49	3	153	761

(3) 職員利用状況

職員の診療利用件数は全体に減少している。

利用区分	診療					相談		書類					健康相談		休養室利用	急患救護	機器利用	衛生材料	その他	総計
	内科系	外科系	メンタル	婦人科系	診療計	職場復帰支援	関係者コンサルテーション	健康診断証明書	健診結果表	紹介状	診断書・意見書	書類計	来所	メール、電話						
令和元 (平成31)年度	10	4	12	1	27	1	0	0	3	0	2	5	24	20	6	1	11	0	54	149

1 2. 学生メンタルヘルス関連

(1) こころの相談室受診状況

常三島保健管理部門および蔵本保健室の「こころの相談室」を受診した学生数を示している。令和元年度については、前年度より受診者数および受診件数が増加し、概ね例年並みとなっている。診断の内訳についても神経症性障害圏が最も多く、気分障害圏がそれに続いており、例年の傾向と変化はみられない。

		常三島	蔵本	総計
精神医学的 診断	F0 症状性・器質性精神障害	0	0	0
	F1 精神作用物質による精神障害	0	0	0
	F2 統合失調症圏	0	0	0
	F3 気分障害	9	6	15
	F4 神経症性障害	23	6	29
	F5 生理的障害	5	4	9
	F6 パーソナリティ障害	2	0	2
	F8 広汎性発達障害圏	5	0	5
	F9 小児・青年期の行動情緒障害	5	0	5
	その他	5	0	5
計(人数)		54	16	70
計(面接件数)		261	81	342

関係者のみの相談利用

学生本人の利用には至っていないが、関係者（保護者や教員）のみが学生について相談利用した数を示している。

	常三島	蔵本	総計
関係者のみの相談(保護者・教員)(人数)	0	1	1
面接件数	0	1	1

学部別受診状況

在学者数から見ると、総合科学部、工学部の受診率が高くなっている。

	常三島	蔵本	総計
総合科学部	15	0	15
医学部	4	11	15
歯学部	1	2	3
薬学部	1	3	4
工学部	11	0	11
理工学部	15	0	15
生物資源産業学部	4	0	4
その他	3	0	3
計(人数)	54	16	70

(2) 新入生メンタルヘルス健診実施状況

平成20年度から、新入生の健診時に、自記式の質問紙によるメンタルヘルス健診を実施している。質問紙の回答の結果がカットオフを超えていた者を二次健診対象者として、面接を呼びかけて精神保健指導を行っている。

質問紙は平成26年度まではGHQ28を、27年度からUPIを使用している。UPIでは60点満点中「総得点が30点を越える者」、「得点にかかわらず自殺念慮が見られる者」とした。また、カットオフ基準には至らない高得点者には希望者に面接を行った。

二次健診対象者は例年受診者の6～8%で、令和元年度は8%であった。面接の結果の要留意学生数は、面接数の約40%であった。面接時の状態に従って、精神保健指導、継続相談治療への導入、医療機関への紹介などを行った。

	学生数	受診者数	受診率 (回収率)	平均得点	二次健診対象者		二次健診結果	
					対象者数	対象者率	面接数	要留意 学生数
令和元 (平成31)年度	1356	1270	94%	12.4	107	8.4%	37	15
前年度	1345	1283	95%	12.8	112	8.7%	49	25

1 3. 健康教室等実施利用状況

令和元年度は常三島地区において、健康支援として、学生・職員の希望者を対象に、骨密度測定会を実施した。

内容		日程	参加人数	合計
第1回	骨密度	令和1年12月3日	3	12
		令和1年12月4日	3	
		令和1年12月5日	3	
		令和1年12月6日	3	
令和元(平成31)年度総計			12	

*1回1時間実施

1 4. 学生健康診断証明書発行状況

学生の健康診断証明書は、学務部に設置してある自動発行機にて発行できるようになっている。ただし、発行に当たって医師の確認を要する場合など、自動発行機で発行できない場合は、常三島保健管理部門で発行している。

令和元（平成 31）年度

① 保健管理部門発行分

	総合科学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	理工学部	生物資源産業学部	合計(枚)
4月	1	16	3	10	9	5	1	45
5月	16	11	2	27	22	23	10	111
6月	13	20	3	2	23	10	4	75
7月	19	30	3	2	10	7	2	73
8月	1	8	0	0	1	8	3	21
9月	5	14	12	3	4	10	0	48
10月	0	4	1	0	6	1	0	12
11月	2	3	0	1	6	0	0	12
12月	0	2	2	4	0	0	0	8
1月	0	3	3	9	3	0	0	18
2月	0	5	0	5	3	3	0	16
3月	27	23	4	7	196	12	5	274
合計	84	139	33	70	283	79	25	713

② 自動発行機発行分

	総合科学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	理工学部	生物資源産業学部	合計(枚)
4月	28	9	0	4	66	43	23	173
5月	77	54	8	35	209	123	48	554
6月	25	90	6	25	99	42	12	299
7月	26	90	22	8	26	23	3	198
8月	37	25	2	4	30	26	2	126
9月	13	20	13	1	29	11	2	89
10月	5	28	3	3	6	3	0	48
11月	9	21	2	4	2	2	0	40
12月	1	6	3	5	1	8	0	24
1月	3	9	21	2	5	5	1	46
2月	8	23	12	39	19	19	8	128
3月	35	75	2	31	40	112	52	347
合計	267	450	94	161	532	417	151	2,072

① + ②

	総合科学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	理工学部	生物資源産業学部	合計(枚)
4月	29	25	3	14	75	48	24	218
5月	93	65	10	62	231	146	58	665
6月	38	110	9	27	122	52	16	374
7月	45	120	25	10	36	30	5	271
8月	38	33	2	4	31	34	5	147
9月	18	34	25	4	33	21	2	137
10月	5	32	4	3	12	4	0	60
11月	11	24	2	5	8	2	0	52
12月	1	8	5	9	1	8	0	32
1月	3	12	24	11	8	5	1	64
2月	8	28	12	44	22	22	8	144
3月	62	98	6	38	236	124	57	621
合計	351	589	127	231	815	496	176	2,785

15. 年間主要行事

令和元（平成31）年度

月	学 生 業 務	職 員 業 務
4	新入生定期健康診断	特殊健診：放射線取り扱い者健康診断(病院診療用)
	在校生定期健康診断	
	再検査(血圧・尿)	
	健康診断証明書発行開始	
5	在校生定期健康診断	特殊健診：放射線取り扱い者健康診断(病院診療用)
	HBs抗原抗体検査(麻疹・風疹・水痘・ムンプスを含む) (医1・栄1・歯1・口1・看1・3編入・検1・放1・薬1・4・助・総M1)	
	新入生精神健康調査有所見者面接	
	放射線取り扱い者健康診断(新規)	
6	1回目HBsワクチン接種 (医1・栄1・歯1・口1・看1・3編入・検1・放1・薬1・4・助・総M1)	
	定期健康診断有所見者事後指導	
	学生精神健康調査有所見者面接	
	2回目HBsワクチン接種 (医1・栄1・歯1・口1・看1・3編入・検1・放1・薬1・4・助・総M1)	特殊健診：有害業務従事者健康診断(第1回)
7	学生精神健康調査有所見者面接	
	オープンキャンパス救護	
	科学体験フェスティバルin徳島救護	
	第49回 中国・四国大学保健管理研究集会(愛媛大学)	
8		特定保健指導
	特殊健診：放射線取り扱い者健康診断(更新)	
	前期業務整理	
	定期健康診断有所見者経過観察	特定保健指導
9		特殊健診：VDT作業従事者健康診断
	インフルエンザ予防接種実施(希望者)	
	第57回 全国大学保健管理研究集会(北海道大学)	
	一般社団法人国立大学保健管理施設協議会総会	
10	秋季入学健康診断	定期健康診断有所見者経過観察
	3回目HBsワクチン接種 (医1・栄1・歯1・口1・看1・3編入・検1・放1・薬1・4・助・総M1)	特殊健診：深夜業務従事者健康診断
		特殊健診：有害業務従事者健康診断(第2回)
	インフルエンザ予防接種実施(希望者)	
	特殊健診：放射線取り扱い者健康診断(新規)	
	推薦入試救護 大学祭救護	
11	徳島大学駅伝大会出場者健康診断	
	駅伝健診の再検査及び医療機関紹介	
	健康教室(骨密度検査)	
12	第46回徳島大学駅伝大会救護	胃がん検診(40才以上)
	HBs抗体検査 (医1・栄1・歯1・口1・看1・3編入・検1・放1・薬1・4・助・総M1)	子宮がん検診(女子職員希望者)
		大腸がん検診(希望者)
		喀痰細胞診検査(希望者)
		がん検診判定(大腸がん・喀痰細胞診)
1	大学入試センター試験救護	
	前期入学試験救護	
	推薦入試救護	
	放射線取り扱い者健康診断(更新)	
2	公益社団法人全国大学保健管理協会中国四国保健看護運営委員会	
	学生定期健康診断(医学部5年生対象)	
	後期入学試験救護	
3	公益社団法人全国大学保健管理協会中国四国地方部会幹事会(書面審議)	
	全国大学保健管理協会中国四国地方部会意見交換会	
	本年度業務整理	

Ⅱ. 総合相談部門

1. 利用状況

(1) 学生相談利用状況

全体の来談者数は180人となり、前年度の163人よりも20人程度増加した。「精神面の問題」と「人権問題」の解決を求めて来談する学生の人数が増加したことから、個人内や修学環境上の深刻な問題を抱えて悩む学生の来談が増加したことが背景にあると考えられる。

学部においては、「総合科学部」の来談者が最も多かった。総合科学部は、他学部と比べて多様な学問分野で構成されており、入学後に学びたいことや将来の進路について考える学生が多く存在している。このような背景から、利用人数が最も多くなったと考えられる。

大学院においては、先端技術科学教育部の来談者が最も多かった。先端技術科学教育部は、他の教育部に比べて圧倒的に在籍人数が多いことによると考えられる（全大学院生の約半数）。

相談内容別で見ると、「精神面の問題」「人間関係の問題」の解決を求めて来談した学生が最も多く、同程度の来室者数であった。自分自身の心理的問題や身近な他者との関係性など、周囲には気軽に相談できない問題を解決するための利用ニーズが高かったと考えられる。

学部	修学・履修	留年・不登校	進路・就職	経済的	人間関係	精神面	健康面	人権	悪質商法	その他	合計
総合科学部	5	4	9		11	7		2	1	1	40
医学部	2	4	2		5	2	1	1		3	20
歯学部					1	1		2			4
薬学部	3	1			2	2	1	2		1	12
工学部	3	1	3			6			1	2	16
理工学部	3	8	1		6	7		5			30
生物資源産業学部	2	1		1	1	1				1	7
不明学部			1			1					2
学部合計	18	19	16	1	26	27	2	12	2	8	131
総合科学教育部	1		1		2	1		2			7
医科学教育部											0
栄養生命科学教育部	1				1	1		1			4
保健科学教育部					1	1					2
口腔科学教育部					1	1		1			3
薬科学教育部	3	2			1	1		6			13
先端技術科学教育部	1	2	4	1	3	7	1	1			20
大学院合計	6	4	5	1	9	12	1	11	0	0	49
合計	24	23	21	2	35	39	3	23	2	8	180

(2) 相談内容別職員相談利用状況

所属別で見ると、「病院」の来談者が最も多かった。病院職員の数の多さが関係していると考えられる。相談内容別で見ると、「人間関係の問題」の解決を求めて来談する教職員が最も多かった。次に多かったのが「人権問題」であったことと合わせると、職場の対人的環境で悩む教職員の利用ニーズが高かったと考えられる。

学部	人間関係	就労環境	雇用条件	職業将来設計	人権	精神面	自分の生活等	家族	その他	合計
総合科学部	1				1					2
医学部	2	1				1				4
歯学部	2									2
薬学部					1					1
理工学部		2			1	1				4
病院	1	1		1	2	1			3	9
共同教育研究施設	1					1			1	3
事務局					4	1				5
その他	4					1			2	7
不明	1	1								2
合計	12	5	0	1	9	6	0	0	6	39

2. 活動報告

令和元（平成31）年度

月	対象者	行事	内容
4	学生・教職員・保護者	「キャンパスライフ健康支援センター利用案内」発行	キャンパスライフ健康支援センターの利用案内及び活動内容を周知、保護者宛て徳大広報「とく t a l k」2019春号に同封
		新入生（理工学部）オリエンテーション	理工学部を3ブロックにわけて新入生を対象のオリエンテーション（学生時代の悩み・総合相談部門の紹介）を実施（井ノ崎専任教員）
		新入生（総合科学部）オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション（学生時代の悩み・総合相談部門の紹介）を実施（井ノ崎専任教員）
		新入生（生物資源産業学部）オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション（学生時代の悩み・総合相談部門の紹介）を実施（井ノ崎専任教員）
		新入生（医学部）オリエンテーション	新入生を対象のオリエンテーション（学生時代の悩み・総合相談部門の紹介）を実施（中村専任教員）
		新入生（歯学部・薬学部）オリエンテーション	新入生対象の入門講座（学生時代の悩みと総合相談部門の紹介）を実施（中村専任教員）
	新入生・学生	マルチ商法及びカルト問題の注意喚起のリーフレットを作成・配布	新入生に配布する悪質商法及びカルト問題の注意喚起のリーフレットを作成し、配布
	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施（井ノ崎専任教員）
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施〔常三島地区2回〕（井ノ崎専任教員）
	学生・教職員・保護者	徳大広報「とく T a l k」2019春号掲載	センター紹介（井ノ崎専任教員）
教職員	新任教職員研修会	「人権問題」について講演を実施（中村専任教員）	
	病院新規採用者オリエンテーション	「人権問題」について講演を実施（中村専任教員）	
5	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施（井ノ崎専任教員）
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施〔常三島地区1回〕（井ノ崎専任教員）
6	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施（井ノ崎専任教員）
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施〔常三島地区2回〕（井ノ崎専任教員）
専任教員	日本心理臨床学会第38回大会	井ノ崎専任教員出席	
7	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施（井ノ崎専任教員）
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施〔常三島地区2回〕（井ノ崎専任教員）
8	学生	拡大版「ほっと」の会	午前と午後の2部構成のプログラムを実施（井ノ崎専任教員）
9	教職員・学生	学生支援担当教職員研究会	井ノ崎専任教員出席
	専任教員	職場のハラスメント相談担当者向け養成講座 大学向け講座	井ノ崎専任教員出席
		日本心理学会第83回大会	井ノ崎専任教員出席
10	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施（井ノ崎専任教員）
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施〔常三島地区2回〕（井ノ崎専任教員）
11	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施（井ノ崎専任教員）
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施〔常三島地区2回〕（井ノ崎専任教員）
		大学祭に参加	大学祭において心理テストを実施〔常三島・蔵本地区〕
12	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施（井ノ崎専任教員）
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施〔常三島地区1回〕（井ノ崎専任教員）
1	学生	「ほっと」の会	学生対象のグループ活動を実施（井ノ崎専任教員）
		ほっとカフェ	学生同士の交流を深める茶話会を実施〔常三島地区2回〕（井ノ崎専任教員）
学生・教職員・保護者	徳大広報「とくTalk」2019冬号掲載	ヘルスケア（中村専任教員）	
2	専任教員	2019年度日本臨床心理士会 定例研修会Ⅱ	中村専任教員出席
3	教職員	学生支援連絡会	キャリア支援室、保健管理部門、アクセシビリティ支援部門との連携及び意見交換

※総合相談部門開室日

月～金 8:30～17:15

※総合相談部門閉室日

夏季一斉休業（R1.8.13～R1.8.15）

冬季一斉休業（R1.12.29～R2.1.3）

Ⅲ. アクセシビリティ支援部門

1. 利用状況

(1) 学生相談利用状況

学部別で見ると、相談人数・面談回数ともに「理工学部」が最も多く、次いで「総合科学部」が多かった。また、障害種別で見ると、「発達障害」が最も多く相談件数の約84%を占めていた。担当教員による定期的な面談を実施し、それぞれの学生の障害に起因する困難について、合理的配慮がなされるよう関係学部・関係部署・医療機関等と調整を行った。

■学部別

学 部	人 数	面談件数
総合科学部	7	54
理工学部・工学部	12	108
生物資源産業学部	3	11
医学部	1	6
歯学部	1	12
薬学部	1	13
その他(教員含む)	0	0
計	25	204

■障害種別

障害の内容	人 数	面接件数
視覚障害	0	0
聴覚・言語障害	1	1
肢体不自由	1	1
病弱・虚弱（内部障害等）	0	0
重 複	0	0
発達障害	18	168
精神障害	5	34
その他の障害	0	0
計	25	204

(2) 支援学生の育成

障がいをもつ学生を支援する支援学生（ピアサポーター）を育成するため、定期的にアクセシビリティ研究会を開催し、支援のための知識や方法の修得を促している。また、平成 28 年度より、本学はアクセシビリティリーダー育成協議会に入会し、アクセシビリティリーダー 1 級及び 2 級の取得が可能となった。令和元年度には、累計で本学の 1 級取得者が 8 名、2 級取得者は 34 名となっている。

2. 活動報告

令和元（平成31）年度

月	対象者	行事	備考
4	学生	新入生（理工学部）オリエンテーション	
		新入生（総合科学部）オリエンテーション	
		新入生（生物資源産業学部）オリエンテーション	
5	学生・教職員	アクセシビリティ研究会	
	学生・教職員	アクセシビリティ研究会	
6	学生・教職員	アクセシビリティ研究会	
7	学生・教職員	アクセシビリティ研究会	
	学生	アクセシビリティリーダーオンライン講座受講 申込受付	アカウント配布 23名
8	学生	アクセシビリティリーダーオンライン講座・開講	
	学生	AL サマーキャンプ申込受付	
	学生	アクセシビリティリーダー1級・教育課程の実施	1名実習参加
10	学生・教職員	アクセシビリティ研究会	
	学生	アクセシビリティリーダー1級・2級受験申込	1級1名, 2級10名申込
	学生・教職員	アクセシビリティ研究会	
11	学生・教職員	アクセシビリティ研究会	
	学生・教職員	アクセシビリティ研究会	
12	学生	アクセシビリティリーダー1級・2級試験受験	
	学生・教職員	アクセシビリティ研究会	
1	学生	アクセシビリティリーダー1級・2級合格者発表	1級1名, 2級8名合格
	学生	AL キャンプ申込受付	
3	学生	AL 春キャンプ（オンライン）	学生3名参加

IV. キャンパスライフ健康支援センター活動報告

月	業務
6	第1回キャンパスライフ健康支援センター運営委員会
	第1回メンタルヘルスマーケティング
	第1回キャンパスライフ健康支援センター会議
7	第2回キャンパスライフ健康支援センター会議
9	第2回メンタルヘルスマーケティング
	第3回キャンパスライフ健康支援センター会議
10	第4回キャンパスライフ健康支援センター会議
11	第5回キャンパスライフ健康支援センター会議
12	第2回キャンパスライフ健康支援センター運営委員会
	第3回メンタルヘルスマーケティング
	第6回キャンパスライフ健康支援センター会議
1	第7回キャンパスライフ健康支援センター会議
2	第3回キャンパスライフ健康支援センター運営委員会
	第4回キャンパスライフ健康支援センター運営委員会
3	第4回メンタルヘルスマーケティング
	第8回キャンパスライフ健康支援センター会議

令和元（平成 31）年度 キャンパスライフ健康支援センター年報

発行日 2020年9月

編集・発行 徳島大学キャンパスライフ健康支援センター
〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地